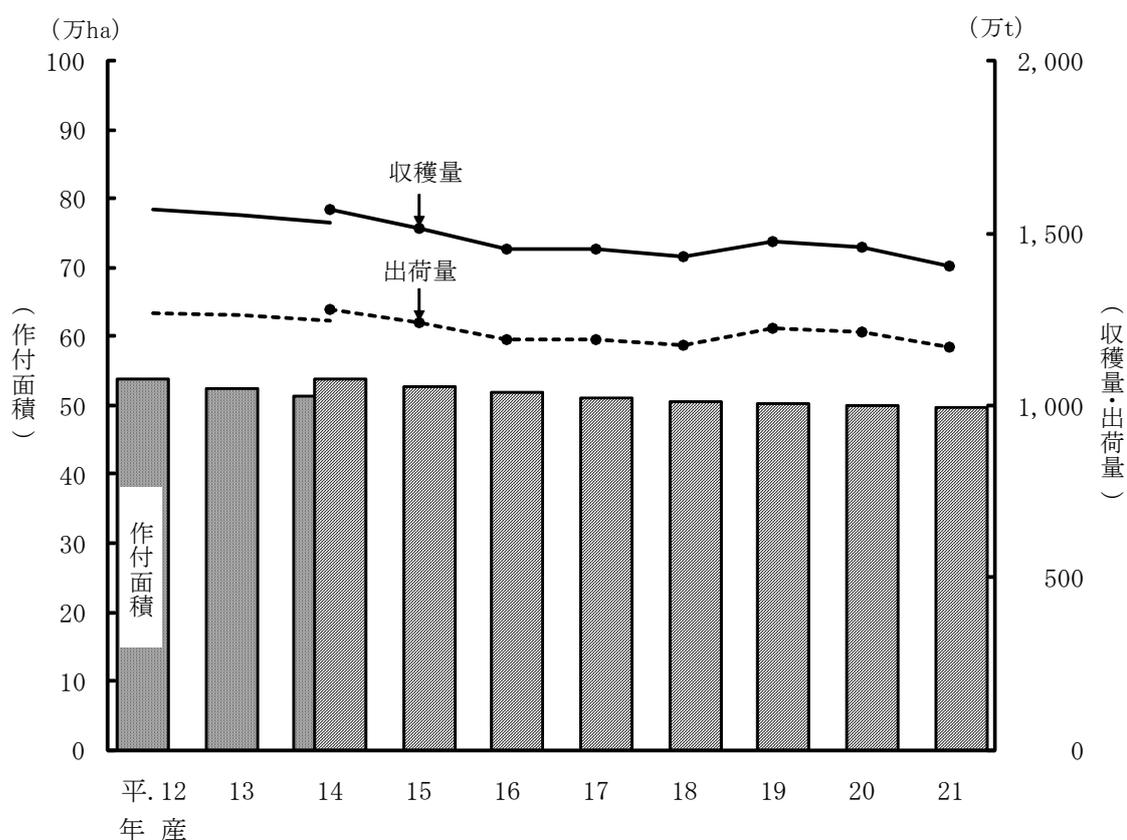


1 要 旨

平成21年産の野菜（39品目）の作付面積は49万8,200ha、収穫量は1,407万2,000 t、出荷量は1,168万9,000 tであった。

図1 野菜の作付面積、収穫量及び出荷量



注：平成14年産から葉茎菜類8品目（こまつな、ちんげんさい、ふき、みつば、アスパラガス、しゅんぎく、にら及びにんにく）、果菜類1品目（そらまめ）及び香辛野菜（しょうが）を新たに追加し、39品目となったため、図中、平成14年産については29品目で再集計して過去3年間と同様に表し、平成14年産以降、39品目計の作付面積を「」、収穫量及び出荷量を「・」で表した。

表1 平成21年産野菜の作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり 収	収穫量	出荷量	前年産対比				(参考) 平均収量 対
					作付面積	10a当たり 収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
計	498 200	-	14 072 000	11 689 000	100	-	96	96	-
根 菜 類	178 900	-	5 442 000	4 399 000	99	-	95	94	-
だいこん	36 400	4 380	1 593 000	1 250 000	99	100	99	100	103
かぶ	5 240	2 960	155 000	125 300	99	98	97	97	101
にんじん	19 000	3 420	650 100	577 300	98	101	99	100	105
ごぼう	9 270	1 870	173 400	146 000	103	101	104	104	102
れんこん	3 970	1 570	62 200	51 900	99	99	98	98	106
ばれいしょ (じゃがいも)	83 100	2 960	2 459 000	2 001 000	98	92	90	89	89
さいも	14 100	1 290	182 400	112 400	101	101	102	102	104
やまのいも	7 900	2 120	167 100	135 000	98	94	92	92	95
葉 茎 菜 類	180 800	-	5 352 000	4 561 000	101	-	98	98	-
はくさい	18 600	4 970	924 100	718 700	100	100	100	101	104
こまつな	5 930	1 650	97 800	82 600	102	101	103	104	101
キャベツ	33 200	4 170	1 385 000	1 211 000	101	99	100	100	101
ちんげんさい	2 430	2 080	50 600	44 200	101	100	101	101	99
ほうれんそう	22 400	1 280	286 300	234 200	100	98	98	98	99
ふき	707	2 110	14 900	12 200	99	97	96	95	91
みつば	1 140	1 500	17 100	15 800	97	100	98	97	101
しゅんぎく	2 320	1 620	37 600	30 100	97	99	97	96	99
セルリー	673	5 450	36 700	34 900	102	105	107	108	106
アスパラガス	6 510	478	31 100	27 100	100	101	101	102	106
カリフラワー	1 360	1 790	24 400	19 700	100	99	100	100	99
ブロッコリー	13 400	1 050	141 100	124 800	106	97	103	103	101
レタス	20 600	2 670	549 800	510 200	100	101	101	100	104
ねぎ	23 100	2 200	508 400	400 000	100	99	100	100	101
にら	2 260	2 950	66 700	60 100	101	101	102	102	101
たまねぎ	24 000	4 840	1 161 000	1 022 000	100	92	91	91	97
んにく	2 140	925	19 800	12 900	104	96	101	105	95
果 菜 類	109 200	-	2 450 000	2 007 000	100	-	96	96	-
きゅうり	12 400	5 000	620 200	524 100	99	100	99	99	101
かぼちゃ	18 200	1 180	214 100	163 700	101	87	88	87	87
なす	10 400	3 360	349 100	263 200	98	97	95	96	99
トマト	12 400	5 790	717 600	634 600	99	99	98	98	99
ピーマン	3 400	4 200	142 700	122 300	98	97	95	95	100
スイートコーン	25 500	925	235 900	183 600	99	90	89	88	94
さやいんげん	7 120	711	50 600	32 500	101	98	99	101	101
さやえんどう	4 230	662	28 000	17 700	98	100	98	98	106
そらまめ	2 340	838	19 600	13 900	96	97	93	93	99
えだまめ	13 300	545	72 500	50 900	102	95	98	98	95
香 辛 野 菜									
しょうが	1 980	2 690	53 200	39 900	103	104	107	106	123
果 実 的 野 菜	27 300	-	774 000	682 800	98	-	97	97	-
いちご	6 360	2 900	184 700	168 100	98	98	97	97	102
メロン	8 870	2 250	199 400	181 100	96	100	96	96	99
すいか	12 100	3 220	389 900	333 600	98	98	97	97	98

2 指定野菜の品目別の概要

(1) だいこん

ア 作付面積

作付面積は3万6,400haで、前年産に比べて200ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は4,380kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は159万3,000tで、前年産に比べて1万t（1%）減少した。

出荷量は125万tで、前年産並みとなった。

エ 季節区別の概況

(ア) 春だいこんの作付面積は5,000haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は4,870kgで、前年産に比べて3%下回った。これは、2月から3月にかけての日照不足等の影響により生育が抑制されたためである。

この結果、収穫量は24万3,300tで、前年産に比べて7,500t（3%）減少し、出荷量は21万5,100tで、前年産に比べて7,000t（3%）減少した。

(イ) 夏だいこんの作付面積は7,170haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は3,580kgで、前年産に比べて1%下回った。

この結果、収穫量は25万6,500tで、前年産に比べて2,400t（1%）減少し、出荷量は22万8,500tで、前年産に比べて1,500t（1%）減少した。

(ウ) 秋冬だいこんの作付面積は2万4,200haで、前年産に比べて300ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は4,520kgで、前年産に比べて1%上回った。

この結果、収穫量は109万3,000tで、前年産並みとなり、出荷量は80万6,700tで、前年産に比べて9,000t（1%）増加した。

図2 だいこんの作付面積及び収穫量の推移

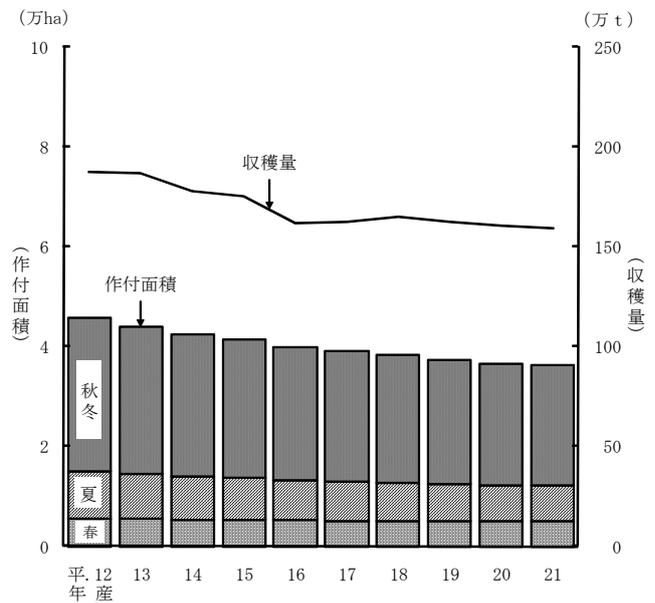


表2 平成21年産だいこんの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
だ い こ ん	36 400	4 380	1 593 000	1 250 000	99	100	99	100	103
春	5 000	4 870	243 300	215 100	100	97	97	97	101
夏	7 170	3 580	256 500	228 500	100	99	99	99	101
秋 冬	24 200	4 520	1 093 000	806 700	99	101	100	101	104

(2) にんじん

ア 作付面積

作付面積は1万9,000haで、前年産に比べて300ha（2%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は3,420kgで、前年産に比べて1%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は65万100tで、前年産に比べて6,700t（1%）減少した。

出荷量は57万7,300tで、前年産並みとなった。

エ 季節区別の概況

(ア) 春夏にんじんの作付面積は4,290haで、前年産に比べて30ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は3,790kgで、前年産に比べて4%上回った。これは、生育期間をとおして比較的天候に恵まれたためである。

この結果、収穫量は16万2,500tで、前年産に比べて4,600t（3%）増加し、出荷量は14万7,200tで、前年産に比べて4,500t（3%）増加した。

(イ) 秋にんじんの作付面積は6,380haで、前年産に比べて210ha（3%）減少した。これは、他野菜への転換等があったためである。

10a 当たり収量は3,120kgで、前年産に比べて8%下回った。これは、7月中旬以降の低温、日照不足の影響により、生育が抑制されたためである。

この結果、収穫量は19万8,800tで、前年産に比べて2万3,700t（11%）減少し、出荷量は18万800tで、前年産に比べて1万6,000t（8%）減少した。

(ウ) 冬にんじんの作付面積は8,290haで、前年産に比べ70ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は3,490kgで、前年産に比べて5%上回った。これは、生育期間をとおして比較的天候に恵まれたためである。

この結果、収穫量は28万8,900tで、前年産に比べて1万2,500t（5%）増加し、出荷量は24万9,300tで、前年産に比べて1万1,600t（5%）増加した。

図3 にんじんの作付面積及び収穫量の推移

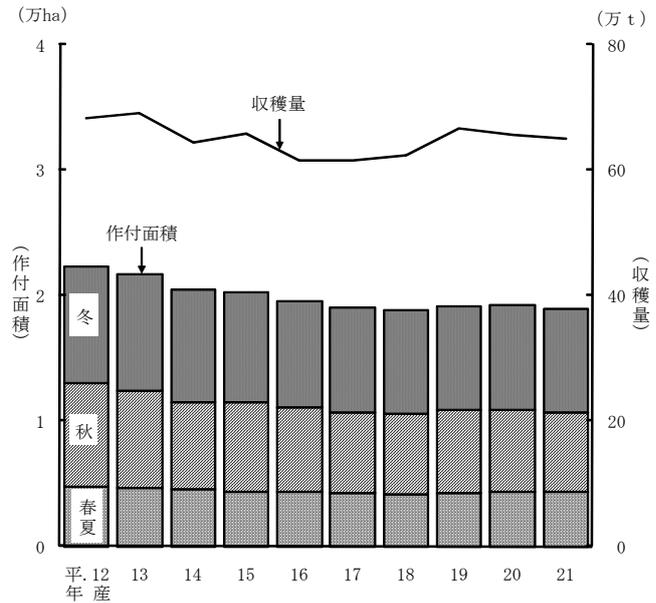


表3 平成21年産にんじんの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比				(参考) 平均収量対 平均収量対
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
にんじん	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春夏	4 290	3 790	162 500	147 200	99	104	103	103	105
秋	6 380	3 120	198 800	180 800	97	92	89	92	99
冬	8 290	3 490	288 900	249 300	99	105	105	105	107

(3) ばれいしょ（じゃがいも）

ア 作付面積

作付面積は8万3,100haで、前年産に比べて1,800ha（2%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,960kgで、前年産に比べて8%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は245万9,000tで、前年産に比べて28万4,000t（10%）減少した。

出荷量は200万1,000tで、前年産に比べて25万t（11%）減少した。

エ 季節区別の概況

(ア) 春植えばれいしょの作付面積は8万300haで、前年産に比べて1,700ha（2%）減少した。これは、他野菜等への転換などがあったためである。

10a 当たり収量は3,000kgで、前年産に比べて9%下回った。これは、北海道において7月中旬以降の低温、日照不足の影響により、いもの肥大が抑制され小玉傾向となったためである。

この結果、収穫量は241万2,000tで、前年産に比べて28万5,000t（11%）減少し、出荷量は196万7,000tで、前年産に比べて25万1,000t（11%）減少した。

(イ) 秋植えばれいしょの作付面積は2,820haで、前年産に比べて50ha（2%）減少した。

10a 当たり収量は1,660kgで、前年産に比べて3%上回った。これは、生育期間をとおして比較的天候に恵まれたためである。

この結果、収穫量は4万6,700tで、前年産に比べて600t（1%）増加し、出荷量は3万3,700tで、前年産に比べて700t（2%）増加した。

図4 ばれいしょ（じゃがいも）の作付面積及び収穫量の推移

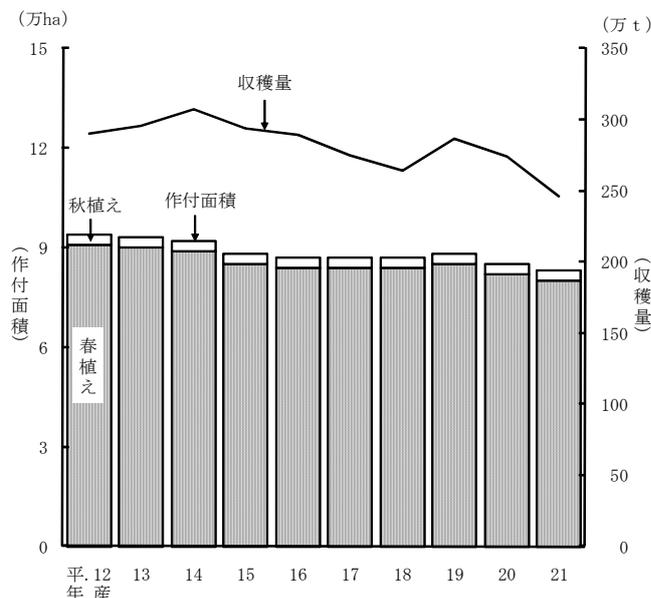


表4 平成21年産ばれいしょ(じゃがいも)の作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比				(参考) 平均収量対 比
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ばれいしょ (じゃがいも)	83 100	2 960	2 459 000	2 001 000	98	92	90	89	89
春植え	80 300	3 000	2 412 000	1 967 000	98	91	89	89	90
秋植え	2 820	1 660	46 700	33 700	98	103	101	102	108

(4) さといも

ア 作付面積

作付面積は1万4,100haで、前年産に比べて100ha（1%）増加した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,290kgで、前年産に比べて1%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は18万2,400tで、前年産に比べて2,700t（2%）増加した。

出荷量は11万2,400tで、前年産に比べて2,200t（2%）増加した。

エ 季節区分別の概況

秋冬さといもの作付面積は1万4,000haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は1,300kgで、前年産に比べて2%上回った。これは、生育期間をとおして比較的天候に恵まれたためである。

この結果、収穫量は18万2,000tで、前年産に比べて2,600t（1%）増加し、出荷量は11万2,200tで、前年産に比べて2,200t（2%）増加した。

図5 さといもの作付面積及び収穫量の推移

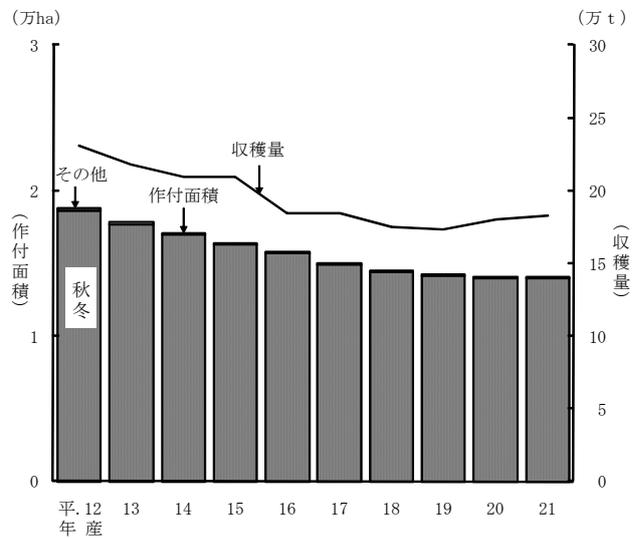


表5 平成21年産さといもの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
さといも	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	14 100	1 290	182 400	112 400	101	101	102	102	104
うち秋冬	14 000	1 300	182 000	112 200	100	102	101	102	105

(5) はくさい

ア 作付面積

作付面積は1万8,600haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は4,970kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は92万4,100tで、前年産並みとなった。

出荷量は71万8,700tで、前年産に比べて7,300t（1%）増加した。

エ 季節区別の概況

(ア) 春はくさいの作付面積は1,880haで、前年産に比べて70ha（4%）増加した。これは、茨城県で規模拡大等があったためである。

10a 当たり収量は6,030kgで、前年産に比べて3%上回った。これは、生育期間をとおして比較的天候に恵まれたためである。

この結果、収穫量は11万3,300tで、前年産に比べて7,700t（7%）増加し、出荷量は10万2,200tで、前年産に比べて7,500t（8%）増加した。

(イ) 夏はくさいの作付面積は2,800haで、前年産に比べて30ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は6,330kgで、前年産に比べて1%上回った。

この結果、収穫量は17万7,300tで、前年産並みとなり、出荷量は15万2,400tで、前年産に比べて4,800t（3%）減少した。

(ウ) 秋冬はくさいの作付面積は1万3,900haで、前年産に比べて100ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は4,560kgで、前年産並みとなった。

この結果、収穫量は63万3,600tで、前年産に比べて4,900t（1%）減少し、出荷量は46万4,000tで、前年産に比べて4,600t（1%）増加した。

図6 はくさいの作付面積及び収穫量の推移

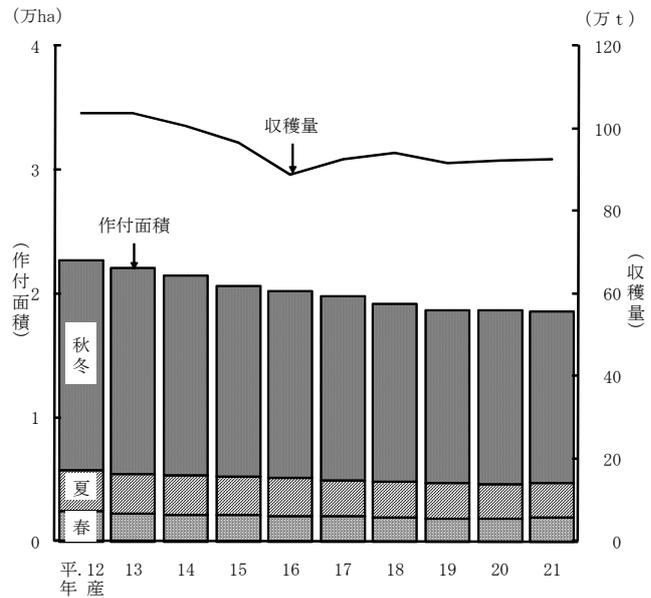


表6 平成21年産はくさいの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a 当たり収	10a 当たり量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比				(参考) 平均収量 対 比
						作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
はくさい	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%	
はくさい	18 600	4 970	924 100	718 700	100	100	100	101	104	
春	1 880	6 030	113 300	102 200	104	103	107	108	104	
夏	2 800	6 330	177 300	152 400	99	101	100	97	106	
秋 冬	13 900	4 560	633 600	464 000	99	100	99	101	104	

(6) キャベツ

ア 作付面積

作付面積は3万3,200haで、前年産に比べて200ha（1%）増加した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は4,170kgで、前年産に比べて1%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は138万5,000tで、前年産並みとなった。

出荷量は121万1,000tで、前年産並みとなった。

エ 季節区別の概況

(ア) 春キャベツの作付面積は8,870haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は4,110kgで、前年産並みとなった。

この結果、収穫量は36万4,500t、出荷量は31万7,900tで、ともに前年産並みとなった。

(イ) 夏秋キャベツの作付面積は1万200haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は4,470kgで、前年産に比べて1%下回った。

この結果、収穫量は45万5,800tで、前年産に比べて5,300t（1%）減少し、出荷量は39万9,300tで、前年産並みとなった。

(ウ) 冬キャベツの作付面積は1万4,200haで、前年産に比べて200ha（1%）増加した。

10a 当たり収量は3,980kgで、前年産に比べて1%下回った。

この結果、収穫量は56万4,600t、出荷量は49万3,700tで、ともに前年産並みとなった。

図7 キャベツの作付面積及び収穫量の推移

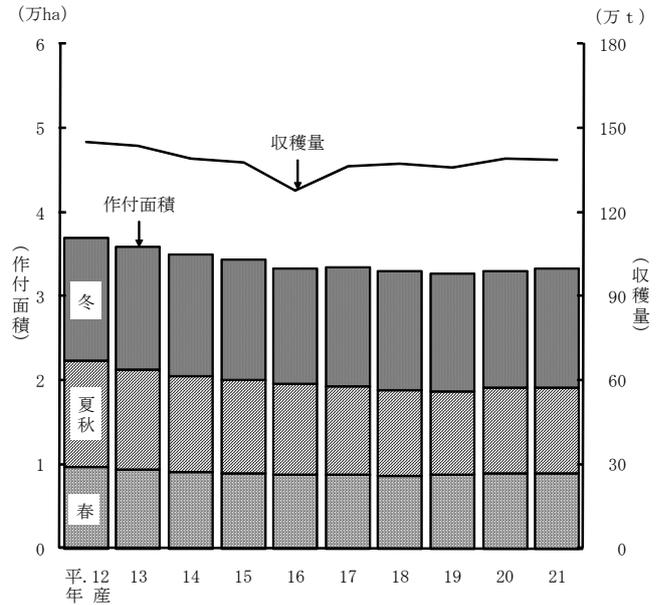


表7 平成21年産キャベツの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比				(参考) 平均収量対 比
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
キャベツ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春	8 870	4 110	364 500	317 900	100	100	100	100	102
夏 秋	10 200	4 470	455 800	399 300	100	99	99	100	106
冬	14 200	3 980	564 600	493 700	101	99	100	100	100

(7) ほうれんそう

ア 作付面積

作付面積は2万2,400haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,280kgで、前年産に比べて2%下回った。これは、生育期の天候不順の影響等により生育が抑制されたためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は28万6,300tで、前年産に比べて6,400t（2%）減少した。

出荷量は23万4,200tで、前年産に比べて4,100t（2%）減少した。

図8 ほうれんそうの作付面積及び収穫量の推移

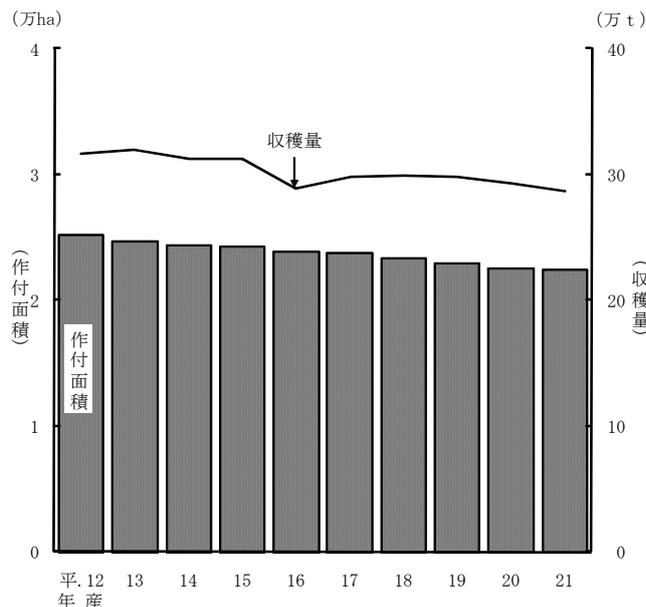


表8 平成21年産ほうれんそうの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比				(参考) 平均収量対比
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ほうれんそう	ha 22 400	kg 1 280	t 286 300	t 234 200	% 100	% 98	% 98	% 98	% 99

(8) レタス

ア 作付面積

作付面積は2万600haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,670kgで、前年産に比べて1%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は54万9,800tで、前年産に比べて5,500t(1%)増加した。

出荷量は51万200tで、前年産並みとなった。

エ 季節区別の概況

(ア) 春レタスの作付面積は4,220haで、前年産に比べて50ha(1%)減少した。

10a 当たり収量は2,800kgで、前年産に比べて1%下回った。

この結果、収穫量は11万8,200tで、前年産に比べて2,900t(2%)減少し、出荷量は10万9,800tで、前年産に比べて2,900t(3%)減少した。

(イ) 夏秋レタスの作付面積は8,600haで、前年産に比べて80ha(1%)増加した。

10a 当たり収量は2,920kgで、前年産に比べて5%上回った。これは、群馬県において、業務向けの契約栽培が増加し、肥培管理等の指導が行われたためである。

この結果、収穫量は25万900tで、前年産に比べて1万3,500t(6%)増加し、出荷量は23万4,600tで、前年産に比べて7,500t(3%)増加した。

(ウ) 冬レタスの作付面積は7,800haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は2,320kgで、前年産に比べて3%下回った。これは、生育期の天候不順の影響等により生育が抑制されたためである。

この結果、収穫量は18万700tで、前年産に比べて5,100t(3%)減少し、出荷量は16万5,800tで、前年産に比べて5,100t(3%)減少した。

図9 レタスの作付面積及び収穫量の推移

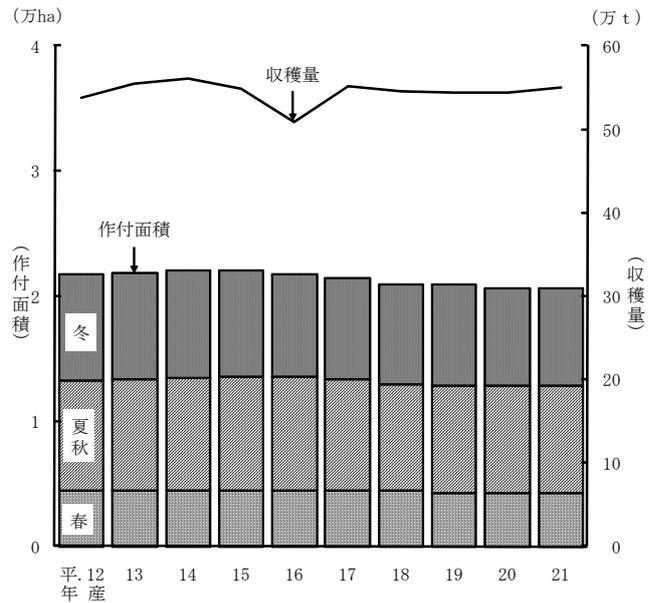


表9 平成21年産レタスの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
レ タ ス	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
レ タ ス	20 600	2 670	549 800	510 200	100	101	101	100	104
春	4 220	2 800	118 200	109 800	99	99	98	97	103
夏 秋	8 600	2 920	250 900	234 600	101	105	106	103	107
冬	7 800	2 320	180 700	165 800	100	97	97	97	100

(9) ねぎ

ア 作付面積

作付面積は2万3,100haで、前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,200kgで、前年産に比べて1%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は50万8,400tで、前年産並みとなった。

出荷量は40万tで、前年産並みとなった。

エ 季節区別の概況

(ア) 春ねぎの作付面積は3,410haで、前年産に比べて20ha(1%)増加した。

10a当たり収量は2,540kgで、前年産並みとなった。

この結果、収穫量は8万6,600tで、前年産に比べて500t(1%)増加し、出荷量は7万5,200tで、前年産に比べて600t(1%)増加した。

(イ) 夏ねぎの作付面積は5,160haで、前年産に比べて90ha(2%)増加した。これは、他野菜からの転換等があったためである。

10a当たり収量は1,920kgで、前年産に比べて2%下回った。これは、7月中旬以降の低温、日照不足の影響により、生育が抑制されたためである。

この結果、収穫量は9万9,200tで、前年産並みとなり、出荷量は8万5,000tで、前年産に比べて600t(1%)増加した。

(ウ) 秋冬ねぎの作付面積は1万4,600haで、前年産に比べて100ha(1%)増加した。

10a当たり収量は2,210kgで、前年産に比べて1%下回った。

この結果、収穫量は32万2,600tで、前年産に比べて2,500t(1%)減少し、出荷量は23万9,800tで、前年産に比べて1,400t(1%)減少した。

図10 ねぎの作付面積及び収穫量の推移

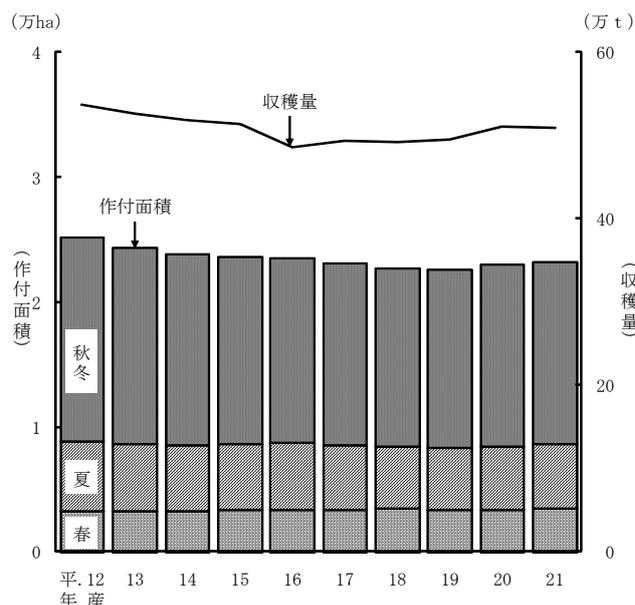


表10 平成21年産ねぎの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比				(参考) 平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
ねぎ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春	3 410	2 540	86 600	75 200	101	100	101	101	100
夏	5 160	1 920	99 200	85 000	102	98	100	101	98
秋冬	14 600	2 210	322 600	239 800	101	99	99	99	102

(10) たまねぎ

ア 作付面積

作付面積は2万4,000haで、前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,840kgで、前年産に比べて8%下回った。これは、7月中旬以降の低温、日照不足の影響により、生育が抑制されたためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は116万1,000tで、前年産に比べて11万t(9%)減少した。

出荷量は102万2,000tで、前年産に比べて9万9,000t(9%)減少した。

図11 たまねぎの作付面積及び収穫量の推移

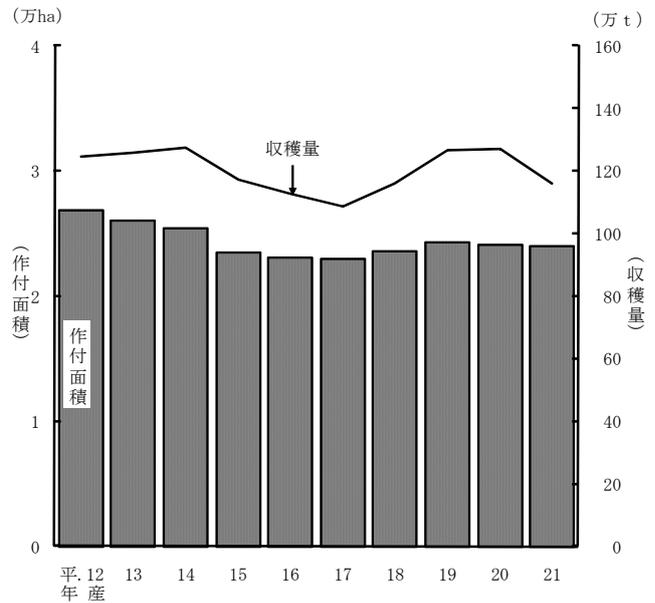


表11 平成21年産たまねぎの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比				(参考) 平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
たまねぎ	24 000	4 840	1 161 000	1 022 000	100	92	91	91	97

(11) きゅうり

ア 作付面積

作付面積は1万2,400haで、前年産に比べて100ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は5,000kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は62万200tで、前年産に比べて7,200t（1%）減少した。

出荷量は52万4,100tで、前年産に比べて3,800t（1%）減少した。

エ 季節区別の概況

(ア) 冬春きゅうりの作付面積は3,190haで、前年産に比べて50ha（2%）減少した。これは、生産者の高齢化に伴う作付中止等があったためである。

10a 当たり収量は10,100kgで、前年産並みとなった。

この結果、収穫量は32万2,200tで、前年産に比べて3,500t（1%）減少し、出荷量は30万500tで、前年産に比べて2,300t（1%）減少した。

(イ) 夏秋きゅうりの作付面積は9,170haで、前年産に比べて100ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は3,250kgで、前年産並みとなった。

この結果、収穫量は29万8,000tで、前年産に比べて3,700t（1%）減少し、出荷量は22万3,500tで、前年産に比べて1,600t（1%）減少した。

図12 きゅうりの作付面積及び収穫量の推移

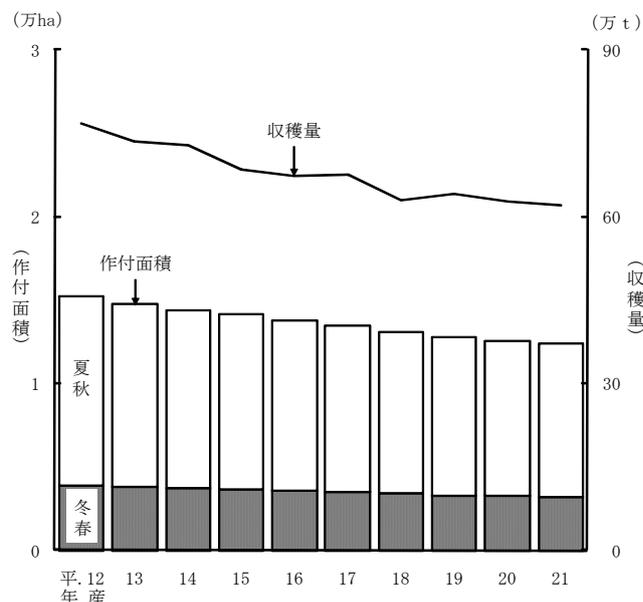


表12 平成21年産きゅうりの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
き ゅ う り	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬 春	3 190	10 100	322 200	300 500	98	100	99	99	101
夏 秋	9 170	3 250	298 000	223 500	99	100	99	99	101

(12) なす

ア 作付面積

作付面積は1万400haで、前年産に比べて200ha（2%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は3,360kgで、前年産に比べて3%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は34万9,100tで、前年産に比べて1万6,800t（5%）減少した。

出荷量は26万3,200tで、前年産に比べて1万100t（4%）減少した。

エ 季節区分別の概況

(ア) 冬春なすの作付面積は1,250haで、前年産に比べて50ha（4%）減少した。これは、生産者の高齢化に伴う作付中止等があったためである。

10a 当たり収量は10,500kgで、前年産に比べて1%上回った。

この結果、収穫量は13万1,400tで、前年産に比べて3,400t（3%）減少し、出荷量は12万4,000tで、前年産に比べて2,800t（2%）減少した。

(イ) 夏秋なすの作付面積は9,170haで、前年産に比べて150ha（2%）減少した。これは、生産者の高齢化に伴う作付中止等があったためである。

10a 当たり収量は2,380kgで、前年産に比べて4%下回った。これは、7月中旬以降の低温、日照不足の影響により、生育が抑制されたためである。

この結果、収穫量は21万7,800tで、前年産に比べて1万3,200t（6%）減少し、出荷量は13万9,200tで、前年産に比べて7,400t（5%）減少した。

図13 なすの作付面積及び収穫量の推移

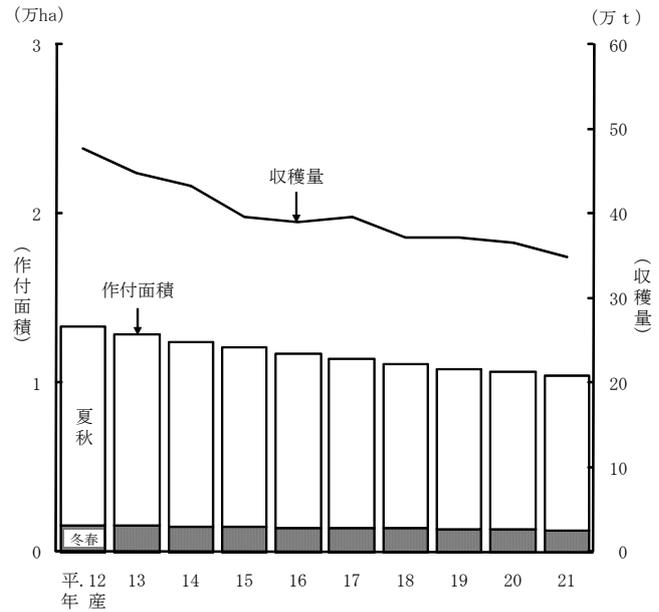


表13 平成21年産なすの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a 当たり収	10a 当たり量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比				(参考) 平均収量 対 比
						作付面積	10a 当たり 収	収 穫 量	出 荷 量	
なす	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%	
なす	10 400	3 360	349 100	263 200	98	97	95	96	99	
冬 春	1 250	10 500	131 400	124 000	96	101	97	98	103	
夏 秋	9 170	2 380	217 800	139 200	98	96	94	95	98	

(13) トマト

ア 作付面積

作付面積は1万2,400haで、前年産に比べて100ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は5,790kgで、前年産に比べて1%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は71万7,600tで、前年産に比べて1万5,200t（2%）減少した。

出荷量は63万4,600tで、前年産に比べて1万3,700t（2%）減少した。

エ 季節区別の概況

(ア) 冬春トマトの作付面積は4,000haで、前年産に比べて60ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は9,310kgで、前年産並みとなった。

この結果、収穫量は37万2,200tで、前年産に比べて5,300t（1%）減少し、出荷量は34万9,900tで、前年産に比べて5,100t（1%）減少した。

(イ) 夏秋トマトの作付面積は8,430haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は4,100kgで、前年産に比べて2%下回った。これは、7月中旬以降の低温、日照不足の影響により、生育が抑制されたためである。

この結果、収穫量は34万5,400tで、前年産に比べて9,900t（3%）減少し、出荷量は28万4,800tで、前年産に比べて8,500t（3%）減少した。

図14 トマトの作付面積及び収穫量の推移

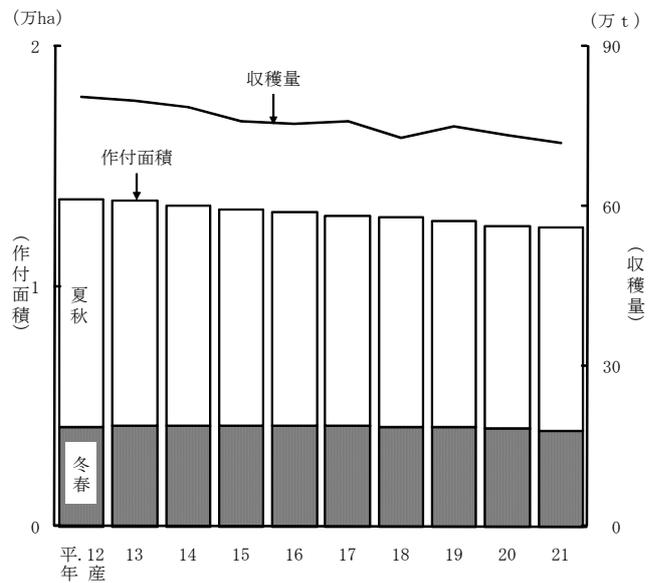


表14 平成21年産トマトの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ト マ ト	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬 春	4 000	9 310	372 200	349 900	99	100	99	99	100
夏 秋	8 430	4 100	345 400	284 800	100	98	97	97	98

(14) ピーマン

ア 作付面積

作付面積は3,400haで、前年産に比べて60ha（2%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は4,200kgで、前年産に比べて3%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は14万2,700tで、前年産に比べて7,600t（5%）減少した。

出荷量は12万2,300tで、前年産に比べて6,900t（5%）減少した。

エ 季節区分別の概況

(ア) 冬春ピーマンの作付面積は734haで、前年産に比べて35ha（5%）減少した。これは、生産者の高齢化に伴う作付中止等があったためである。

10a 当たり収量は9,660kgで、前年産に比べて3%下回った。これは、2月から3月にかけての日照不足等の影響により生育が抑制されたためである。

この結果、収穫量は7万900tで、前年産に比べて5,800t（8%）減少し、出荷量は6万6,700tで、前年産に比べて5,700t（8%）減少した。

(イ) 夏秋ピーマンの作付面積は2,660haで、前年産に比べて30ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は2,700kgで、前年産に比べて1%下回った。

この結果、収穫量は7万1,800tで、前年産に比べて1,900t（3%）減少し、出荷量は5万5,600tで、前年産に比べて1,300t（2%）減少した。

図15 ピーマンの作付面積及び収穫量の推移

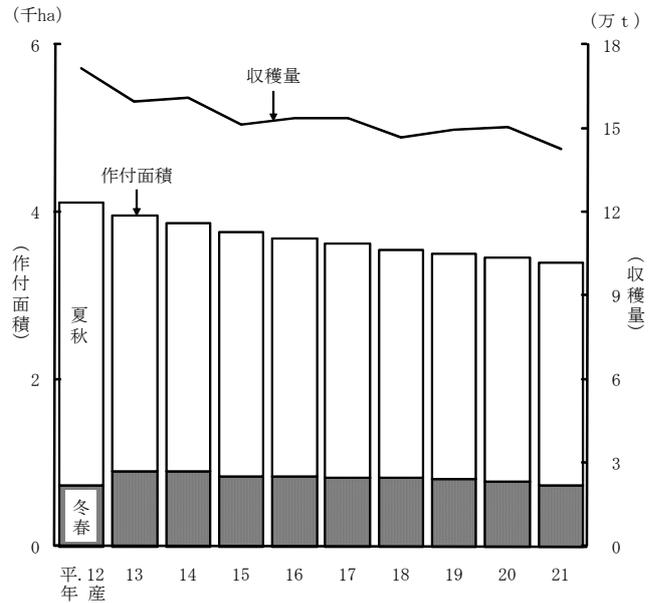


表15 平成21年産ピーマンの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ピ ー マ ン	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬 春	734	9 660	70 900	66 700	95	97	92	92	101
夏 秋	2 660	2 700	71 800	55 600	99	99	97	98	103